

人生儀礼（通過儀礼） 七五三（しちごさん）



- ▶ 1 1月15日・・・三歳と五歳の男の子 ・ 三歳と七歳の女の子

晴れ着を着せて氏神様を祀っている神社に参拝しお祓いを受ける
健やかな成長と神のご加護をお祈りする

- ▶ 江戸時代に徳川綱吉の子どものお祝いを11月15日に行った

武家社会では三歳になると男女とも髪を伸ばし始める『髪置きの祝い』を行った
五歳の男の子に初めて袴を着せる『袴着（はかまぎ）の祝い』を行った
七歳の女の子には帯代わりの紐から、初めて帯を結ぶ『帯解きの祝い』を行った

人生儀礼（通過儀礼） 七五三（しちごさん）



▶『七歳までは神のうち』

七歳までの死亡率が高かったことから、七歳まで無事に生きてきた子どもを氏神様にお見せして感謝をする意味もあった

▶現在では・・・

日取りは1月15日前後の休日が一般的で、神社も自由になっている
晴れ着を着た子どもの記念写真を撮ることが一つの目的に
子どもの成長の節目の行事として、多くの人でお祝いを